

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願ひ-

現在、国立国際医療研究センターでは、REBIND において保管されている
鼻咽頭ぬぐい液検体と臨床情報を使って、下記の研究を実施します。

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、2 ページに記載しております問合せ担当者まで直接お問い合わせ
ください。なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の検体・診療情報等を「この
研究に利用・提供して欲しくない」と思われた場合は、このページに記載しております REBIND の問い合わせ窓
口までお申し出ください。ご本人に申し出ていただくことができない場合、ご家族の方からの申し出も受け付け
ております。お申し出頂いたことにより不利益が生じることは一切ありません。

[REBIND へご協力いただいた皆様へ]

研究課題名「新興・再興感染症データバンク事業ナショナル・リポジトリの構築(整理番号 4202) (以下、REBIND)」
にご協力いただいた皆さまからお預かりした試料・情報は、REBIND のリポジトリで保存され、利活用審査委員
会で審査を経たうえで、研究のため利活用されます。それぞれの研究の実施内容は、REBIND ホームページにて、
順次公開していきます (下記、研究課題名以降参照)。

REBIND の概要については、(<https://rebind.ncgm.go.jp/About>) をご覧ください。

[皆様からいただいた試料・情報の利活用のとりやめについて]

下記、研究課題名以降の研究の実施内容をご覧になり、REBIND への参加を取りやめたい方は、REBIND 問
い合わせ窓口にご連絡ください。同意説明文書に記載されている通り、いったん本事業へのご協力の同意をいた
だいても、その同意の撤回 (取りやめ) は、自由に行うことができます。その場合、同意撤回通知書の内容に沿
って、皆さまからいただいた試料・情報について、適切な対応を取らせていただきます。撤回されても患者
さんに不利益が生じることはありません。試料・情報の利用を希望されない方は、REBIND の問
い合わせ窓口までご連絡ください。

REBIND の問い合わせ窓口 (新興・再興感染症・データバンク事業 患者コールセンター、電話番号：0120-431-
022、Web サイト：<https://rebind.ncgm.go.jp/>)

REBIND へご協力いただいた方の試料・情報が利活用されている研究は以下のとおりです。

[研究課題名]

重症急性呼吸器感染症 (SARI) における非標準培地を使用した検査機器と参照法での一致性評価研究

[研究対象期間・研究対象者]

2023年4月1日から2026年3月31日までの間に、REBIND参加施設でCOVID19、インフルエンザA、インフル
エンザBとして診断され、治療を受けられた方

[利用する試料・診療情報の項目]

試料：上記研究対象期間・研究対象者において、REBINDにて保管されている検体（鼻咽頭ぬぐい液）を利用します。

診療情報：REBINDにて保管されている臨床情報（基本情報（年齢、性別等）、感染症に関する情報（対象疾患の検査結果等）、入院や治療に関する情報（入院時症状、転記、治療内容等）を利用します。

[利用の目的] （ヒト遺伝子解析研究：無）

REBINDで保管されている鼻咽頭ぬぐい検体は、採取した後にUTMという液体培地に入れて保存されます。この研究に使用する開発検査機器では、通常はUTM液体培地での検査が行われていません。開発検査機器でもUTM液体培地を使って検査を行うことができたら、REBINDで保管されている鼻咽頭ぬぐい検体の利用が増え、有意義であると考えています。この研究では、開発機器検査を使ってUTM液体培地の検体での検査を行い、従来の検査方法とどのくらい一致しているかを比較することが目的です。

[研究期間]

期間：研究の実施許可日より2027年3月31日までの間（予定）

[解析結果のご説明について]

本研究は、REBINDにて登録されたデータを解析に用います。研究を行う際には患者さんを特定できるような情報は提供されませんので、患者さん自身の解析結果や研究全体の解析結果をご連絡することはありません。

[試料・情報等の新たな研究での利用について]

試料・情報は、本研究の範囲でのみ使用します。

[利益相反について]

この研究では、研究全体および研究者個人としての利益相反はありません。また民間企業などからの研究資金の提供は受けていません。利益相反の状況については利益相反マネジメント委員会（利益相反審査委員会）に報告し、その指示を受けて適切に管理しています。

[この研究での試料・診療情報等の取扱い]

REBINDから試料・情報をもって研究を実施しますが、REBINDからもらう時点で個人を特定できるような情報は削除された状態で提供されます。その上で、NCGM倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、適切に試料・情報を取り扱います。

[機関長、研究責任者、および、問合せ担当者]

機関長：国立国際医療研究センター 理事長 国土 典宏

研究責任者・問合せ担当者：国立国際医療研究センター（NCGM） 国際感染症センター 松永展明

電話：03-3202-7181（代表）（対応可能時間：平日 9:00-16:00）

作成日：2024年11月22日第1.1版